



学校だより

# はくれい

白山市立  
白嶺小中学校  
第18号  
令和3年12月9日



## 2学期最後の白嶺交流集会

2日、白嶺交流集会が行われました。初めに表彰伝達が行われ、たくさんの児童生徒が読書感想文、俳句、絵画などのコンクールや部活動で入賞したことを伝達披露しました。また、中学生の飛田さんと山本さんが、先日行われた白山市子ども議会に参加したことを報告しました。最後に健康委員会の企画によるレクレーションとして、リフレーミングを学びながら、全校児童生徒が楽しく交流をしました。リフレーミングとは、物の見方を変えること、つまり考え方や言葉の置き換えをすることです。人間関係においても、相手について見方を変えることで、相手のよさを理解することにつながり、お互いに気持ちよく過ごすことができると思います。

表彰伝達



おしゃべり



社会的

## 自分もまわりの人も大切に・・・「人権週間」

12月4日から10日までは「人権週間」です。白嶺交流集会では、生徒会長の尾田さんが「相手の気持ちを思いやること」、「仲間はすれやいじめをなくすこと」について、全校児童生徒にメッセージを伝えました。

この人権週間は昭和23年12月10日に第3回国連総会で世界人権宣言が採択されたことを記念して広く国民に基本的人権思想を広め、人権意識を高めるために始まったものです。人権とは「人が幸せに生きるために必要な固有の権利」です。この権利は自分と同じように他の人も持っており、お互いに尊重しなければいけません。しかし、今も様々な偏見や不合理な理由によって、学校、家庭、地域社会など身近な生活の中で、人が幸せや豊かな生活を求めようとする権利が侵されたり、差別が起こったりしています。

学校でも私たちの身近に起こりうる「いじめ」は個人の人権を侵すものです。また、最近では新型コロナウイルス感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷などあってはならないことも起こっています。

この機会に人権についての理解を深め、お互いに人権を尊重し、自分も他の人も大切にしましょう。



すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である。 ～「世界人権宣言より」～

### 表彰披露

#### ◎第24回こん虫図画作品展(小学生)

優秀賞 丹保 日奈(1年)

作品は2月14日まで  
県ふれあい昆虫館に  
展示されています

#### ◎白山市読書感想画コンクール(小学生)

優良	常少	凜音(1年)	ミュージシャンのへや
優良	山口	晴之(1年)	コウモリいっぱいドラキュラのへや
佳作	柴山	雄太郎(2年)	前川 逢莉(2年)
	合田	侑生(3年)	宮崎 虹太(4年)
	合田	美琴(5年)	葛西 弘樹(6年)
			新敷愛七海(5年)
			山本 夏芽(6年)



丹保日奈さん作品

